

日本学術会議 課題別委員会
社会のための学術としての「知の統合」推進委員会（第1回）
議事要旨

1. 日時 平成22年10月13日（水） 15:00-17:00
2. 会場 日本学術会議5-C(2)会議室
3. 出席者：矢川委員長、舘副委員長、原幹事、苧阪委員、野家委員、林委員、
笠木委員、萩原委員
事務局：石原参事官、瀬高補佐、中島調査員ほか

4. 資料

資料1 委員名簿

資料2 課題別委員会設置提案書

資料3 「社会のための学術としての「知の統合」推進委員会」の検討メモ

資料4 『学術の動向』10月号（抄）日本の展望－学術からの提言2010

資料5 公開シンポジウム：「知の統合」に向けて

5. 議事

議題1 「出席者紹介」（資料1）

議題2 「委員長、副委員長、幹事の選出」

（1）委員長の選出

委員の互選により、矢川元基委員を委員長に選出した。

（2）副委員長、幹事の指名

矢川委員長より、副委員長・幹事に関する提案があり、出席委員の同意により、以下のように決定した。副委員長：舘暲委員、幹事：中西友子委員、原辰次委員。

議題3 「委員会の設置理由説明」

舘副委員長より、平成22年7月22日の第100回幹事会で承認された本委員会の設置理由の説明がなされた（資料2）。

議題4「今後の進め方について」

今後の審議の進め方について、館副委員長から説明がなされた（資料3）。本委員会設置の経緯と本委員会の目的に関する説明の後、具体的な審議事項として、①新しい発見や創造あるいはイノベーションのための知の統合のための方法論と方策、②課題解決のための知の統合のための方法論と方策、③「重要課題の解決に向けたイノベーションの創出」を例とした知の統合の試み、④「知の統合」を担う人材の育成のための方法論と方策、の4つが提案された。この4つの審議事項ならびに審議の方法・スケジュール案に関する基本方針が承認された。

また、「工学基盤における知の統合分科会」での審議のまとめについて、原幹事から5月に開催された公開シンポジウムの内容が紹介された（資料5）。主たる内容は、「知の統合体系化小委員会」と「知の統合推進小委員会」の2つの小委員会の審議のまとめであり、それに基づき本委員会での今後の審議の進め方について議論を行った。

・次回審議事項の確認、今後の予定の確認

次回以降、総合工学の分科会で工学分野については審議された①と④の項目に関係する内容について、第一部と第二部および第三部の理学の分野での事例をご紹介いただき審議することとした。次回の話題提供の候補者として、野家委員（第一部）と林委員（第二部）を決定した。

なお、追加メンバーの候補（特に第一部、第二部）があれば、11月1日までに事務局あてにメールで推薦いただくこととした。また、矢川委員長より、連絡の便宜のため委員間でメールアドレスを交換する旨の提案がなされ承認された。

・次回委員会の日程

次回委員会候補日として、12月27日（月）と12月28日（火）を決定し、日程調整を行った後に最終決定することとした。